



デュエット

Vol.37

2016.3

◆小学生男女共同参画アンケート	
◆いつもHAPPY! ～女性の輝ける社会へ 主婦からの企業～	
◆男女共同参画推進センター講座開催報告	◆女性のための相談

小学生 男女共同参画 アンケート

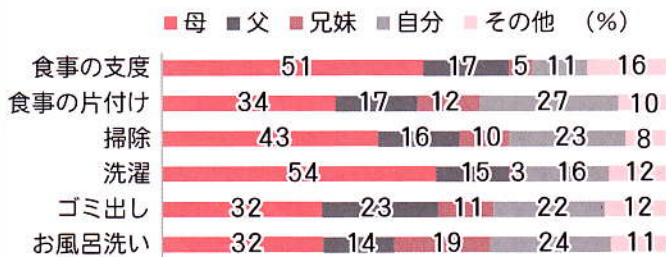
変化しつつある子ども達の意識

上尾市に住む小学4年生42人に男女共同参画に関するアンケートに協力してもらいました。

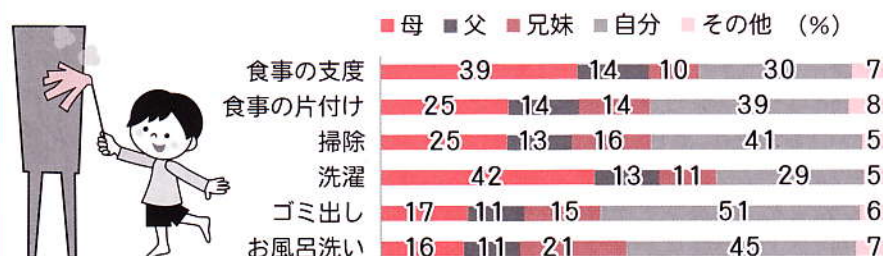
現在、家庭内の仕事（家事）は母親が行っている項目が多く、外に出て仕事をする女性が増えている現在もなお、女性の負担は大きい様子がありました。しかし、子どもたちの意識の中では自分が家事分担を担いたいと思っているとのアンケート結果が出ています。教育の中で家庭科が男女共同になったことや、「お互いを助け合っていこう」という世の中の流れから、子ども達の意識は変わりつつあります。

男の子、女の子の区別なく、家庭の中でみんなが協力し合える環境になるように、より良い暮らしに変わっていく希望が持てるアンケート結果となりました。

おうちの仕事は誰がしていますか？



おうちの仕事は誰がした方がいいと思いますか？



～女性の輝ける社会へ 主婦からの起業～

上尾市で、2011年に「Co-Chat(こちゃっと)」を起業し、活躍している笠倉さん・川崎さん・阿部さんにお話を伺いました。



Co-Chatとは どんな会社ですか？



小さなこちゃっとした可愛いものと、おしゃべりの意味のチャットを合わせた造語で、『かわいい』『かっこいい』『便利』をコンセプトに、デコパージュをはじめ、アイシングクッキー、グルーデコ、デコカップケーキ、辞書バックなどを制作し、ネットやイベントなどで販売している会社です。起業を目指す講師育成教室も展開しています。

毎朝、40分間の公園ウォーキングでアイデアを出し合い、それぞれが得意分野を生かし、個々の自宅で制作活動をしています。

元々は、子どもをきっかけに知り合った10年来のママ友です。言いたいことは言い合える関係で、2人だとまとまらないことも、3人だと結論を出せるバランスが良いチームです。

仕事でもプライベートでも大事にしていることは、『自分が楽しむ』こと。自分が楽しんでいると、家族や周りの人達にも優しくでき、いい作品を作ることに繋がりますから。



起業について教えてください

代表の笠倉さんに伺いました。

家族の影響から【経済】に興味を持ち、いつか自分で事業を始めたいと考えていました。子どもが小さい頃から、短期の仕事をしたり、技術を磨くために自己投資をしたり、起業についての本を何度も読んだり準備をしていました。

2011年に、まずはやってみよう！という信念と、夫の後押しもあり、起業し個人事業主になりました。起業というと、資金面や税金のことで、大変というイメージがあるかもしれませんが、そんなことはないんですよ。

個人事業主になることで、仕入先が広がり、制作に必要な材料が安く購入できるというメリットもあって、思い切って起業して良かったです。



- 『開業資金0円』
- 『所轄の税務署に開業届けを提出すると個人事業主になれる』
- 『節税効果の高い青色申告ができ、赤字を繰り越すことが可能』
- 『1年間の無料の税務指導の制度があり安心』

開業届けをコピーしておくといいよ！



Co-Chat
イメージキャラクター
らぶりん♪

今後の夢は何ですか？

モノ作りを楽しめるカフェを開業すること。必要な道具を持っていなくても、そこへ行けば制作を楽しめるというように、誰もが気軽に、カフェでくつろぎながら制作ができ、また、可愛い作品を見て楽しめるような場所にしたいです。

上尾市には、自分たち意外にも、たくさん制作活動をしている人がいるので、そういった人たちも、講座を開ける場所になればいいなとも思います。

現在、スペースを探しています。



「大人のための片付け講座～自宅と実家のかんたん整理&収納術」を開催

片づけは、やる気8割、技術2割

昨年11月13日、上尾市プラザ22にて、渡部亜矢さん（片付け上手塾エグゼカレッジ表参道校代表理事）を講師に「大人のための片づけ講座」を開催しました。

片づけは人生の整理です。年齢と共に物の量は増えていきますが、体力は落ちていくものです。安心、安全、健康に暮らせる家为目标に、親世代も子世代も元気なうちに片づけに取り組んでみましょう。



片づけをスムーズに進められる『3の法則』

【いる】、【いらぬ】、【一時保管】の3つに、3秒で分けます。このように分類することで、片づけを最速化します。【一時保管】を設けることで、捨てなくてもいい安心感が持て、悩む時間が減ります。そして防災、防犯のため、残すものは動線を考慮した場所に置きます。【一時保管】は半年位を目安にして処分しましょう。

実家の片付け「5つの鉄則」

実家の片付けは、親の安全確保が第一で、モデルルームのようにキレイに片づけることではありません。右記の5つの鉄則で片付けてみましょう。



イラスト/コブ

「不安を解消！男性介護講座」を開催

平成27年11月17日、上尾市プラザ22にて、太田差恵子さん（介護・暮らしジャーナリスト、NPO法人パオッコ理事長）による「男性介護講座」が開催されました。

介護者数は、この20年間で約2倍（平成3年3,565千人→平成23年6,829千人）に増加しており、その内で男性介護者の割合は4割を占めています。中高年男性の場合、仕事中心の生活であったため、通常の家事でもうまくこなせない人が多く、プライベートな人脈がないために、情報入手が難しい、ストレスを溜め込みやすいという特徴があります。また、息子による介助や介護を望まない場合も多くあり、その結果、虐待へと繋がることもあります。



そこで重要になってくるのが、『親を支えるためのプロジェクト』です。

親を支えるためのプロジェクト

① 課題を探る

両親と対話を重ね、困っていること、望んでいることを確認し、専門家に相談する。

② 情報収集

住んでいる自治体窓口・地域包括支援センター・社会福祉協議会で、どのようなサービスがあるのか、また、職場の介護支援制度について調べる。

③ 介護保険の申請

住んでいる自治体窓口にて要介護認定の申請を行う。

④ チームを組む

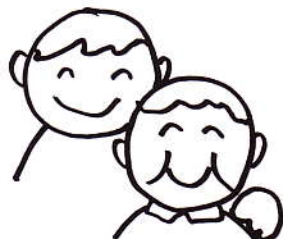
一人で抱え込まず、兄弟・親族・地域住民・専門職・行政など人の手を借りる。

⑤ 介護資金のプランをたてる

心だけでは介護は無理。親の資金を確認し計画を立てる。

太田先生が強調されていたのが、介護離職は避けたほうが良いということです。介護を理由に離職した人は年間約10万人に上りますが、仕事を辞めたからといって介護が楽になるわけではなく、精神的・肉体的・経済的に負担は増していくそうです。

今回は、男性介護者に目を向けた講座でしたが、男性に限らず、ある日突然始まる介護に備え、普段から親と対話を重ねておくこと、情報を集めておくこと、介護資金について話し合っておくことが重要だと感じました。



イラスト/コブ



昨年11月16日、西山さつきさん（NPO法人レジリエンス副代表）を講師に、『デートDV予防セミナー～交際相手との尊重する関係とは～』が上尾市文化センター小ホールで開催されました。

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、夫婦、恋人間など親密な関係で発生する暴力です。結婚していない恋人間でおきるDVのことを、『デートDV』といいます。被害者は女性であったり男性であったりします。

デートDVの被害にあっている女子高生、女子大生の数は5人に1人という調査結果があるほど、とても身近な問題になっています。他人事ではなく、自分自身、または友人、家族が経験するかもしれないと思う事が大切です。

「疲れているからだ」、「愛されているからだ」などと考えて暴力を容認する部分が誰でもゼロではないのかもしれませんが、暴力をふるっていい、暴力を受けていいという事は決してありません。

DV、デートDVの形態

身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力、デジタル暴力（通話履歴やメールのチェック、インターネット上の書き込み等）など色々な形態があります。

友達が被害に あっていたら？

- ☆友達の話に耳を傾けましょう
- ☆「あなたは悪くない」と繰り返し伝えましょう
- ☆友達と一緒に信頼できる大人に相談しましょう
（あなたたちだけで問題を解決しようとするのは危険です）
- ☆安全でいるためにできることを考えましょう
- ☆相手と別れたあともケアは必要です
- ☆下の相談窓口に相談しましょう。

あなたが被害に あっていたら？

女性のための相談を 行っています

男女共同参画推進センター（市役所第3別館1階）では、自分の生き方や家族内の悩み、離婚問題、DV（暴力を振るわれる、暴言を吐かれる）などさまざまな悩みを抱えている女性のために相談室を開設しています。いずれも女性のカウンセラー・弁護士・相談員が対応します。

☎048-778-5110

受付時間 月～金曜日
午前8時30分～午後5時
（祝日・年末年始を除く）

秘密厳守

相談無料

※上尾市男女共同参画推進センターでは配偶者暴力相談支援センター業務を行っています。

女性のための相談 女性カウンセラーによる相談

日時 毎週水曜日午前10時～正午・午後1時～4時
相談時間 50分間 ※面接・電話相談可
対象 市内在住・在勤の女性
【予約制：相談月の前月1日から受付】

女性のための法律相談 女性弁護士による相談

日時 毎月第3火曜日午後1時～4時
相談時間 30分間 ※面接相談のみ
対象 市内在住の女性
【予約制：相談月の前月1日から受付】

女性のためのDV電話相談 女性相談員による相談

日時 毎週木曜日午前10時～正午・午後1時～4時
（祝日・年末年始を除く）
【予約不要】

編集後記

編集協力員として、様々な講座の取材に行きました。「男性介護講座」では、参加者同士で話しをする時間があり、知らない人との突然の会話でも盛り上がっていました。困ったことがあったら、まずは相談してみる。すると、気持ちが少し楽になるかもしれません。行動すると思わぬ発見が沢山あります。これを機会に、頭の活性化のためにも、色々な講座に参加してみたいと思いました。

（編集協力員：石野知子・大江育枝・小淵ゆき恵・野村美佐子）

■本紙へのご意見・ご感想をお待ちしています（住所、氏名、電話番号、性別、年代をご記入ください）。